

# 農業の現状と推進方針

但馬地域の農業は、過疎化や高齢化により担い手不足が深刻となっている他、経営基盤が脆弱な小規模農家が多いのが現状です。このため、担い手への農地の集積・集約を進めていくと共に、近年、食品に対する安全志向や自然と共生する農業の展開が求められる中、有機農業をはじめ、コウノトリ育む農法など無農薬・減農薬・減化学肥料による**安全・安心な農産物の生産**が進められています。

こうした環境創造型農業は、地域農業の新しい展開方向として、消費者団体との連携により積極的に推進され、安全・安心な農産物を介して、都市住民と生産者の交流の輪が広がっています。今後、但馬の農産物を活用した魅力的な商品を開発・流通する攻めの農業（6次産業化）の推進が図られます。

一方、中山間地域では、耕作放棄地の増大により食料の安定供給機能と国土の保全等の多面的機能の発揮が困難となってきています。このため、災害に強い安全で安心した農村づくりのための防災対策の推進するとともに、集落等の地域組織の強化に努め、**元気な農村づくり**を進めていきます。

## ■ 安全・安心な農産物の生産



たじまんま（豊岡市）



六方（豊岡市）



コウノトリ育む農法



板仕野（香美町）

